

# 温対新聞

7月6日(火)



## 春日井市「ゼロカーボンシティかすがい」宣言

### ゼロカーボンシティ かすがい

～2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して～

令和3年6月22日

#### ゼロカーボンシティ宣言

春日井市長 伊藤 太



春日井市は6月22日、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティかすがい」を宣言した。また、同日、鈴与電力と「公共施設への電力供給とゼロカーボン推進に関する連携協定」を結び、同じ鈴与グループの協力会社三社を加えた五者で覚書を交わした。

### 109の公共施設へCO<sub>2</sub>フリー電力供給

#### 協力会社と連携し環境学習の充実も

春日井市役所地球温暖化対策行動指針では市役所から排出する温室効果ガス削減を掲げており、締結した協定の内容は、温室効果ガス排出量の削減に大きく貢献する。クリーンセンターで発電した余剰電力と鈴与電力が調達するCO<sub>2</sub>フリー電力を、本庁舎を始めとする市内109の公共施設に供給し、電力のゼロカーボン化を図る。また、小中学校は、クリーンセンターのCO<sub>2</sub>フリー電力で賄えることから、エネルギーの地産地消と、事業活動の電力を再生可能エネルギーで100%賄う「RE100(春日井版)」を達成することとなる。これにより、年間のCO<sub>2</sub>排出量は年間で1万5060tの削減を見込み、この削減量は2019年度の市役所温室効果ガス排出量の約26%に相当する。覚書を交わした協力会社とは、小中学生向けの環境教育や環境啓発活動などを展開し、今後の地球環境問題を担う若い世代の育成に力を入れていくほか、公用車のEV化の提案についても検討を進めていく。

#### 令和3年7月度 重点取り組み項目

- ・ノー残業DAYの徹底(省エネとワークライフバランスの両立)
- ・こまめな換気とエアコンの設定温度の最適化

	2019年度	2020年度	増減率
電気(kWh)	22,529,370	22,555,408	0.1%
都市ガス(m <sup>3</sup> )	1,927,152	2,128,830	10.5%
プロパンガス(t)	15.391	15.388	△0.02%

市内128公共施設の下半期電気・ガス使用量

### 下半期の都市ガス 約10%増加

#### 新型コロナウイルス感染症対策が影響

本庁舎や小中学校を始めとした市内128公共施設における2020年度下半期の電気使用量は22,555千kWh、都市ガス使用量は2,128千m<sup>3</sup>、プロパンガス使用量は15tとなった。都市ガスは、主に小中学校や本庁舎のガスエアコンに使用され、15tとなった。

省エネ診断の結果について、受診4施設での説明会が6月から7月にかけて実施された。各施設でエネルギーの使用状況は異なるものの、診断員からはいくつかの共通する省エネ提案を受けた。担当者は「今回説明を受けた省エネ提案は、ほとんどの公共施設で取り組める内容なので、各施設で積極的に実施して欲しい。継続的な取り組みが電気・ガス使用の削減につながり、ゼロカーボンシティ実現の一助となる」と話していた。

### 省エネ診断結果説明会を実施

#### 各施設では緑のカーテン育成も

今年度、緑のカーテンを育成する公共施設、かすがいエコオフイスは93施設となり、昨年より8施設増加した。各施設がこの時期に育てる緑のカーテンを契機に、事業者、市民を巻き込む地球温暖化対策のさらなる広がりが期待される。



ささえ愛センターで育成中の緑のカーテン

#### ～診断員による省エネ提案～

- ・空調設定温度の見直し
- ・空調使用のルール化
- ・夏季の暖房便座の電源OFF
- ・窓のブラインドの使用
- ・窓際照明の消灯 等